

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第37号令和元年9月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

盆地祭り、雨中で頑張りました！

盆地祭りのメインイベントである二重、三重の大きな輪になつての盆おどり大会、各小学校区で編成する約25名の揃いの浴衣姿の女性が輪の中心になって盛り上がりですが、ことしも我々が津房選抜の24名もの女性グループにボランティア参加いただきました。年を追って参加者が集まり難くなるなか、梶原貴和子部会長、尾立を始めたとする女性部会の各位や佐藤浩一区長会長による熱心な勧誘努力のためです。当日はあいにくの雨模様、特に盆おどりの最中は本降りとなり、雨ガッパ着用、浴衣の裾から草履までスプ濡れのたいへんな状態にも拘わらず、一糸乱れぬ演技を続けてもらえました。イベントを通じて地域活性化を！との女性陣の心意気に感服させられました。たいへん有り難ございました。一方、津房っ子たちは恒例のエイサー踊りで参加、これまた普段の練習成果を存分に発揮して、一糸乱れぬ演技でイベントを盛り上げてくれました。



* 津房っ子の演技 * →

津房少年消防クラブの活動紹介

学校が夏休みに入った去る7月26日、我々が津房っ子の有志で編成された少年消防クラブの団員7名が由布市狭間の大分県消防学校に体験入学しました。メンバーは大分、中津、日田、由布の各市からの参加者を含めた総勢36名で、午前中は防災防火の机上研修、午後は放水迷路避難・ロープ渡過地震の実体験メニューでした。特に、東日本大震災や南海トラフの予想震度の揺れを地震体験車で体感し、その凄さに団員は驚いていました。ことし県下の消防職員として入隊した40人以上のお兄さんお姉さん方が優しくサポートしてくれ、楽しく貴重な夏休みの一日を過ごすことができました。本稿は団長の濱野俊久さん提供による記事です。



** 凛々しく敬礼！ **



しんけんな机上研修です

交通安全協会・津房分会の総会開催！

地区の交通安全推進活動を主導する交通安全協会・津房分会の総会が8月30日に開催されました。総会では、前年度の活動内容と会計についての報告が全会一致で承認されたのち、これまで正式な規約がないまま運営されてきた同会の規約(案)について審議した結果、原案どおりの内容で新規に策定することになりました。そのあと、新規約に基づいた役員選出、ことしの活動計画と収支予算案について協議を行い、滞りなく終了しました。ご多忙にも拘わらず役員を引き受けられた方々は下記のとおりです。
【分会長】 植杉 修一氏(東恵良) 【副分会長】 濱野 俊久氏(六郎丸)
【事務局】 小野 和典氏(若林)
【監事】 岩尾 和之氏(尾立)、安部 秀信氏(板場)
なお、今回策定した規約の要点は次のとおりです。
① 各集落の住民数を考慮して選出される理事は地区全体で21人とする。
② 活動用費用は自治会加入世帯から交通安全活動への協力金として世帯当たり年200円の納付をお願いします。
③ 協力金総額の4分の1(25%)を津房地区女性ドライバー安全会の活動費として分配する。

他市からの視察来訪を受けました

宇佐市で進めているまちづくり活動の一事例として当協議会の活動を視察したいと、9月7日に他市の団体さんが来訪されました。今回は佐賀県小城市の三里校区の区長さん12人と市職の2人、計14人のご一行で、菅原会長、佐藤浩一副会長(地区区長会長)と事務局二人で対応、当協議会の設立経過や取り組み内容についての説明のあと、質疑応答と意見交換を行いました。佐藤副会長の宇佐方言丸出しの“ざっくばらん”な対応もあり、極めて和やかな雰囲気と本音での交流会となりました。三里まちづくり協議会さんの今後の活動に少しでも活かしてもらえればとお見送りました。



☆☆ 津小へのサポート事業紹介 ☆☆

- i-Pad 貸与**
津房小学校のIT教育支援事業として i-Pad(タブレット型パソコン)を一台ずつ購入して貸与する事業を続けてきましたが、ことしも新学期を迎えた9月2日の朝礼時に、ふれあい教育部会長の安部勝行氏からしっかり活用して下さいとのコメントを添えて児童代表への貸与式を行いました。
- 転落防止フェンスの設置**
津房小学校へのアプローチ道の頂部(校舎と体育館の連絡通路の脇)に植栽されていた赤芽の木(ベニカネメモチ)の垣根が枯れ、児童が誤って崖下へ転落することが懸念される状況であったため、枯れた生け垣に替えて金属メッシュのフェンスを設置しようと、9月15日の日曜日、ふれあい教育部会の三役である安部 勝行氏(松本) 濱野 俊久氏(六郎丸)、山本 哲也氏(菅籠)と事務局のド素人四人衆で作業を行い、出来映えは「イマイチですが何とか設置できました。因みに、使用材料費は津小と当協議会とで折半負担です。



枯れた赤芽の木の撤去作業中
←完了写真と山本氏

